

連盟ニュース

314

神奈川

3

2011.3.8



『夜明けとシュカブラ』(新潟県・八海山にて) 撮影：鳥越章夫 (<http://tory.com/>)

第29期(2011年度)登山リーダー養成学校募集要項

7頁

第29期(2011年度)登山リーダー養成学校申込書

10頁



神奈川県勤労者山岳連盟

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階

TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>

発行責任者 後藤 真一

振込先 郵便局 世界貿易センター内局 #00290-9-15228

他金融機関からは 029店 当座0015228

目 次

《エッセイ》		
異文化との共生に思いをはせ	横浜ハイキングクラブ	増田 徹 3
《新規加盟の紹介》		
M & C (エムアンドシー)		2
《会山行紹介》		
【やま++】新旧メンバーが集まった！新年会		4
【相模アルパインクラブ】冬山集中山行		水村和也 5
《お知らせ》		
第29期(2011年度)登山リーダー養成学校募集要項		7
第29期(2011年度)登山リーダー養成学校申込書		10
若干名募集 = 相模アルパインクラブファーストエイド講習会		9
第34回2011丹沢クリーンハイク第3回実行委員会3/28		9
《報告》		
雪上訓練の報告	救助隊	海輪利昭 11
丹沢でアイスクライミング	後藤真一・安田麻衣	11
第34回2011丹沢クリーンハイク第2回実行委員会2/21	川崎柴笛クラブ	吉崎玲子 16
2月事務局長会議議事録		12
3月常任理事会報告		17
《後藤理事長より》役員任務異動とお願い		17
《個人会員制への意見・私見》 - - 登山時報3月号掲載から - -		14
神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定		18
登山時報3月号紹介 / ナマステメールニュースVol.2 8目次紹介		19
県連のスケジュール / 全国会議行事予定		20

新規加盟の会の紹介(3月1日)

会 名 : M & C (エムアンドシー)
 代 表 : 岡崎広土さん
 会員数 : 男3名、女1名 計4名

会の特徴 M & C マウンテニアリングアンドクライミング・・・

異文化との共生に思いをさせ

横浜ハイキングクラブ 増田 徹

北アフリカのチュニジアで起こった政権への変革の波が、エジプト、バーレーン、そしてリビアに派生し、その国々の民主の思いが伝わり、今や世界の国々の耳目を集めている。私自身、其の事を深刻に受け止めたところで、どうこうなるものではない。

しかし其の波動が、身近に差し迫る問題として懸念されるのは、当面石油製品の価格上昇の問題ではなかろうか。申すまでもなく、石油の動向によって農、漁、工業といったあらゆる分野において、世界のメジャーの思惑が我々の日々の生活に、大きな影響を及ぼすからである。

このような事柄は今更申すまでもなく、誰しもが当然の理として受け取られていよう。私も、現役時代彼の地を訪れたのは、航海の途時、給油のために寄港する程度あり、彼の国の政治事情など深く知るよしもなかった。理由は燃料代の高い日本では、航海に必要な燃料全てを、満タンにして航海するのではなく、日本から、石油産出国の港に入港する間の必要な燃料だけを積み込んで出港する。そして燃料費の安い寄港地で、その後の航海に必要な燃料を補給して航海を続ける方法が常識的に、現在でも行われ、運行経費の削減の方策となっている。

一方で、石油よりも、水の方が彼地では遥かに高いので、港湾関係者は、当時必ずと言って良いほど大きな水入れを持参し、船内の蛇口からタップリと清水を家庭に持ち帰るのが当然の行為のようであった。

彼らに言わせると「日本の水は旨い」そうだが、我々はリップサービスと受け止め、常識の範囲で黙認するのが当時の常識であった。現在ではそのような事は無いと思うが、何しろ、水の一滴は、油の一滴よりも高価な地である。

勿論船内の飲料水は大切であったが、飲料水以外の水は、海水からプラントで造水していたので、彼らはその事をよく承知した上での所作である。また、彼地では生活環境の厳しさ故か、信仰に根ざす戒律が多く、戸惑う事が多々あった。例えば、既婚女性は、顔や手以外の素肌を他人に、見せる様な事があってはならない。とか、カメラを向けてはならない。などは、外国人にも適用されるご法度であり、日に5回のアッラーと預言者ムハンマドへの忠誠を誓う折り等々が、生活の中に深く浸透されていた。

そうゆう事とは知らない我々若者(当時は)が、スエズ運河通行のための時間持ちで一泊する機会を得て、初めて港の近辺を散策した折、先輩からのこの地に関するある程度のレクチャを受けてはいたものの、時間の経過に伴い、注意事項をすっかり忘れ、からだ全体をチャドルですっぽり覆い黒い瞳をクリクリさせる女性がいとも美しく見え、女性にカメラを向けるな、の注意事項は何処かに飛んで行ってしまい、ついに禁を犯してしまう。

殆めのうちはさり気なくシャッターを押していたが、やがて正面からカメラを向けるに至っては、いつの間にか現れたのが、大の男がムンズとカメラを取り上げ、フィルムを抜き取りざま、訳の分からぬ言葉を発したかと思った途端にカメラをエジプトの大地に叩きつけ、あるう事に、そのカメラをドク靴の様なもので踏み潰すではないか。

それだけではなく、東洋のちびスケ野郎に、自国の美人をカメラで奪う罪は許し難い、とばかりに、グリ、グリと踏み回してくれて、嗚呼、わがオリンパスペンは、エジプトの地に果てナン。と、心の中で呟く余裕があればこそ。

帰船後、仲間同士でお前が悪い、いや、あいつがドジッタ。と見苦しい罵り合いが、しばらく続いた。しかし大事な事は、オリンパスペンの尊い犠牲によって、我々悪たれどもが、異なる文化の世界から、危機を救ってくれたと言うホロニガイ思い出と共に、異文化の中で生きる厳しさを教えられた思いである。

先日、ニュージーランド南島のクライストチャーチが大きな震災に見舞われた。折り悪く留学中の日本人の安否も未だに定かではない様だ。

早期発見の、救出の報に接したいものだ。南島には行った事はないが、北島のオークランドは如何にもイギリス的で、どこか余所よそしい、雰囲気、彼の国の人々からすれば、肌色の異なる我々は、異邦人中の、異邦人なのであろうか。

あの時代、或いはまだ戦争の記憶から日本人に対する記憶が残っていたのだろうか。それとも思い過ぎしなのかも知れない。ともあれ、震災での行方不明者の、早期の救出のための作業が、全力で行われる姿を映像で見るたびに、頭のさがる思いである。

新旧メンバーが集まった！新年会(やま++)

【日程】 2011年1月22日(土)～23日(日) 参加者：メンバー9名、元メンバー3名
 【山域、メンバー】 22日黒斑山登山9名 23日角間山スキー7名、村上山登山5名
 【天気・コース】

22日(土)＜晴れ＞ 登山口 ト・ミの頭 山頂 ビジターセンター 小諸YH宿泊
 23日(日)＜晴れ＞ 旧鹿沢 角間峠 角間山の西の小ピーク 旧鹿沢までスキー滑走
 鹿沢高原休暇村 村上山

黒斑山登山

スノーシュー、ワカンで歩いたが、雪は締まっているので靴だけ、アイゼン装着でも歩行可能。ト・ミの頭、黒斑山頂は、風が弱く思ったほど寒くなかった。浅間山は昨年の新年会で見たときよりも少ないものの、相変わらず噴煙をあげている。黒斑山登頂は私は3回目だが、浅間山は眺めるだけの山なんだといつも肌で感じる。



「スキーヤーは皆笑顔



「おしるこタイム

今回の山行は、新旧会員が混ざって9人パーティー。雪山って、装備も歩きも苦労が多いものの、澄みきった青空、展望、雪景色を見ながら歩いていると、みんな笑顔になる。急斜面での滑り台では、おどおどする者もいれば、きゃあきゃあはしゃぐ者もいる。みんな、子供だ。下山途中でおやつタイム。おしるこを作った。みんな笑顔で夢中で食べる。

山歩きは、時として童心に返ることができ

る。楽しい遊びだ。新旧会員が混じっても楽しい、仲間とは良いものだといつも感じる。

(記：Hei)

角間山スキー

スキー組7名は、旧鹿沢温泉から入山、トレースの残る夏道を辿って角間峠へ向かう。緩斜面の登りにシールがしっかり効く。角間峠には東屋があり、ベンチ・テーブルは雪ですっかり埋まっている。周辺の積雪は1m以上はある。Dちゃんが、弱層テストとして、シャベルを使って行なうコンプレッションテストを実施。ズレの量が小さく、こしまり雪が良い具合に積もっていて、雪崩の心配は小さい。角間山方面へシール登行していったが、11時半頃、途中から下降開始。フワフワの新雪で、スキー板はよく滑る。テレマークスキーは、新雪でもスキーの特性を活かすことができるが、テレマークターンが決まった！と思った次の瞬間・・・スッテンコロリンと頭から雪まみれになる。テレマーカーならず、転コロマーカーだ。アルパインのOさんは相変わらずビシッと決め、Sさんはいつの間にかプロ級のテレマーカーになっていた。東屋から下は、細かい立ち木が多く、油断ならない。元スキー場の斜面まで移動、しかし、唐松の低木にブッシュと難解な斜面で、おのお



浅間をバックにポーズ

の転びながらもなんとか滑り切って終了。

村上山ハイクチームと温泉で合流。源泉かけ流しの気持ちの良い湯に、コシのあるそば・自家製の野沢菜を楽しみ、帰路についた。

(記：Hei)

村上山スノーハイク

スキー組とは鹿沢温泉で別れ、スノーハイク組は鹿沢高原休暇村から村上山（H1748m）に登った。休暇村と言っても立派なホテルが一軒あるだけだが、駐車場には結構車が止まっていた。足元はスノーシューか和かんじきで登ることにした（アイゼンでも大丈夫だったかもしれない）。

あまり聞いたことがない山なので、踏み跡はないかも知れないと思っていたが、ホテルの裏側からしっかりしたトレールが付いていた。トレールを外すと深いところでは、膝くらいまで潜ってしまう。リーダーの指示で少しだけラッセルの練習をしたが、慣れない者にとってはなかなか難しい。

風もない好天で、汗ばむくらいの陽気だ。途中1か所だけ30～40mくらいの急登があったが、全体的に楽な登りで山頂に着いてしまった。山頂は東に向かって開けていて、南東の方角にある浅間山は見え、北西にある四阿山が望める程度だった。頂上直下の東屋で、仲間がインスタント生姜湯を作ってくれた。やはり、温かくて甘いものは美味しい。同じルートを下って駐車場に下山。下山後のお楽しみは温泉で、鹿沢温泉・紅葉館の立ち



村上山山頂直下の東屋

寄り湯に入った。日本秘湯を守る会のメンバーらしく、マグネシウム・ナトリウム含みの源泉かけ流しで、雲井の湯の看板が掛かっていた。

蕎麦は打ち立てだったようで、野沢菜とともに美味しくいただいた。（記：akuri）

今年の新年会は、元メンバー3名の参加もあり懇親会でたっぷり旧交を温めることができた。又、天候にも恵まれて盛り上がった2日間だった。

冬山集中山行（H.23.01.8～10）

相模アルパインクラブ 水村 和也

正月明け早々の連休を使って今回は北八ヶ岳の黒百合平で集合する集中山行を行いました。諸先輩方（失礼）の高齢もあってか段々と易しい山行になってきました。

今回のパーティは3パーティで先発隊3人はピタラスロープウェーから入山し途中の当会おすすめの某所でテント泊をしまして2日目に麦草峠～中山峠を通過して黒百合平に合流しました。

もう1パーティ2人も8日発で稲子湯から入山し稲子岳南壁を登攀して黒百合平に合流



の計画でしたが稲子岳は取り付きは雪深い樹林帯のラッセルで早々に撤退し近場の湯川でアイスを楽しみ近場の雪原でテン泊。翌日、稲子湯から中山峠を経て黒百合平に合流。

本隊私を含めて6人パーティは渋御殿湯から最短コースで黒百合平を目指しました。

8日から入山した3パーティは12時過ぎにロープウェー駅を晴天の中を出発。積雪は平年並みのものであった。ここ北八ヶ岳の縞枯山から天狗岳にかけては冬山初心者コースとして有名だけあってすれ違いが多い。小屋泊まりやスノーシューのトレッキングが多く、幕営道具を背負っているのは当パーティのみのものであった。

本来なら小屋周辺以外の幕営は禁止なのは知りませんが、14時過ぎに眺望はないものの樹林に囲まれテンバには好都合なところで一夜を過ごしたようであった。

本隊は前夜発で道の駅小淵沢で2台6人が合流してそれぞれのテントで酒盛りをする。テントを張るところが良くなかったのか風の通り道だったのか風が強く、フライが靡いていた。



洪御殿湯の駐車場を8:20頃出発します。出足からの急登ですぐさま体が熱くなってきます。途中体温調整でインナーを一枚脱ぎます。

歩き出して1時間ほどでしたでしょうか、あともう少しで2120m付近の分岐に迎り着くと思っていたとき、ジャンボテントの本隊を担ぎ上げてくれていたメンバーがヘバリ急斜面で休憩する羽目に。しかもそういう時に限って人の往来が多い。嚙蹙の中の休憩でしたが、私も休みたいという気持ちがありましたので、言い出しっぺのメンバーのおかげで休憩することができてホッとする。

休憩後はヘバったメンバーが先頭になりましたが、休憩もほとんどなく11時過ぎに黒百合平に到着しました。

他パーティはまだ来ている様子はなく我々本隊が先に到着です。テントを張って雪で水を作りながら乾杯しました。暫くしてからピタラスパーティが到着してきました。

一方、ピタラスパーティは某所のテンバを8時出発。雪をかぶった麦草フュッテが静寂の中に佇んでいるところでしばしの休憩をとった後丸山に向かう。1時間ほど歩くと丸山山頂でその先から天狗岳が見えるはずであったが、あいにく雲の中に隠れてしまっていました。

高見石小屋で休憩をしようと思っていたのですが、小屋の前のデッキには誰もいなく寒々としていたので休憩を諦めて先を急ぎました。

1時間ほどで到着した中山山頂は強風が吹いていてバランスをとるのに苦労する始末でした。

中山峠には多くの登山者が往来し程なくして黒百合平に12:20到着。既にジャンボテントが張ってありそのそばに設営した後、ジャンボテントに潜り込み宴会に参加しました。

もう1パーティはというと、稲子湯から中山峠を経て来たが途中で逸れてしまい一人が先に到着。片割れも遅れること30分でジャン

ボテントに顔を出し挨拶してテントの設営に取り掛かったようでした。

総勢11名がひとつのテントで新年集中山行が無事達成されました。新年山行のテントは大盛り上がりで楽しい一夜になりました。



翌、未明トイレに行けばテントの周りは雪で10cmほど埋まってしまっていた。ついでにテントの周りの雪かきをしてからテントに潜ってまた睡眠に入りました。

10日は朝から風が強くて天狗岳のPHをするかどうか決めかねていたが、反対多数で天狗岳は中止になり下山することに。本隊は臍抜けの6人メンバーでありました。



稲子湯から入山パーティは早々に挨拶しに来た後東天狗岳から根石岳を縦走。西からの強風が心地よく冬山らしい雰囲気を感じ、夏沢峠を経て稲子湯に下山して行き、ピタラス入山パーティは本隊と一緒に下山し便乗して帰途に着きました。

神奈川県勤労者山岳連盟

第29期(2011年度)登山リーダー養成学校 募集要項

岩、沢、読図、雪山、登山計画、気象判断など登山者必携である基礎知識、基礎技術およびパーティリーダーとして必要な判断や行動を目的として、神奈川県勤労者山岳連盟では本年度も「登山リーダー養成学校」(通称リーダー学校)を下記のとおり開催いたします。

当学校は単発講習ではなく一年を通じて総合的な知識や技術を学び、また同期メンバーと目標に向かって相互に助け合い、コミュニケーションを取りながら、登山本来のパーティシッポの素晴らしさを習得していくことを目的としております。



1. クラス及び募集人数

初級・・・15名程度(初めて受講される方は原則初級となります。)

中級・・・5名程度(原則初級修了者。神奈川県山岳連盟の代表から推薦がある場合は、初めてでも検討します。)

2. 対象者

- (1) 15kg程度の荷物を背負って、一日8時間程度を2日間、一般登山地図に書かれたコースタイムで歩ける方
- (2) 登山中に支障をきたす可能性のある持病等をお持ちでない方
- (3) パーティーのために前向きに取り組める方
- (4) 机上、実技とも一年を通じ8割以上は出席可能な方(理想は10割です)
- (5) 講師及び受講者間の諸連絡はPCメールで、計画書はEXCELを使用していますので、そのような環境の方が望ましいです。
- (6) 上記要件を満たす方でしたら18歳以上65歳程度まで年齢不問。
今までも20代から60代までの受講者がおります。

3. 目標

共通 山岳パーティのリーダーとして安全管理ができ、「人に連れて行ってもらう登山」から「自らがマネジメントできる登山」ができるようになる。

初級 (1) 知識・技術面

クライミング・・・必要なロープワーク、ピレイ、級登攀

沢登り・・・歩行、徒渉、滝登攀、高巻き、ピバーク、
遡行グレード1級程度

読図・・・地形図準備、コンパス使用法、実際の地形判断

登山計画・・・計画の重要性、計画書の作り方、安全対策

気象・・・四季に応じた典型的気象パターンと対策

雪山・・・歩行、雪山独自の危険性とその対応

(2) リーダー&パーティシッポ

・パーティの意義、リーダーとしての役割の修得

中級 (1) 知識・技術面

クライミング・・・ロープワーク、ピレイ等を初級に対して援助、級登攀

- 沢登り・・・・・・・・・遊行グレード2級程度
- 読図・・・・・・・・・地形図準備、コンパス使用法、実際の地形判断を初級に対して指導援助
- 登山計画・・・・・・・・・計画の重要性、計画書の作り方、安全対策
- 気象・・・・・・・・・四季に応じた典型的気象パターンと対策
- 雪山・・・・・・・・・ロープを使用する初級登攀

(2) リーダー&パーティーシップ

- ・リーダーとして十分機能を果たせる

4. 事前学校説明会

日時：4/3(日) 18:30~20:30

会場：かながわ県民センター708号室(横浜駅西口徒歩5分)

学校の主旨や内容と、受講を希望される方の持っているイメージのミスマッチを防ぐため、上記のとおり事前学校説明会及び第一回机上講習を実施します。

初めて受講を希望される方は必ずご出席ください。

なお、説明を聴いた後に入校を辞退する場合は、4/10(日)までに必ずその旨ご連絡をください。連絡いただかない場合は入校希望と判断します。



5. 講習予定 毎回机上講習後に次回実技講習の打合せを行います。

机上は原則として毎月第一水曜日の夜に主にながわ県民センター(横浜駅西口)で行います。

机上および実技講習を欠席される場合は、都度メールにてご連絡ください。

- ・4/3(日) 【机上】入学説明会・装備説明とロープワーク
- ・4/17(日) <実技>クライミング / 広沢寺(予定)
- ・5/11(水) 【机上】登山計画
- ・5/15(日) <実技>クライミング / 湯河原幕岩(予定)
- ・6/1(水) 【机上】読図
- ・6/12(日) <実技>読図 / 西丹沢(予定)
- ・7/6(水) 【机上】沢登り
- ・7/10(日) <実技>沢登り / 丹沢(予定)
- ・8/3(水) 【机上】夏山気象
- ・8/20-21 <実技>沢登り / 釜ノ沢(予定)
- ・9/7(水) 【机上】マルチピッチクライミング
- ・10/15(土)-16(日) <実技>クライミング / 御坂・三ツ峠
- ・10/5(水) 【机上】遭難対策と救助
- ・11/2(水) 【机上】冬山装備・技術
- ・11/30(水) 【机上】冬山気象
- ・12/3(土)-4(日) <実技>雪山 / 富士山五合目付近
- ・1/11(水) 【机上】法的責任
- ・1/21(土)-22(日) <実技>雪山 / 南八ツ・赤岳周辺
- ・2/1(水) 【机上】深雪・雪崩
- ・2/18(土)-19(日) <実技>雪山 / 上越・谷川周辺
- ・3/7(水) 【机上】修了式
- ・3/24(土)-25(日) <実技>卒業山行 / 八ヶ岳周辺(予定)

班単位で計画、行動します。

現地集合は、受講者同士の乗り合い、または講師・スタッフ車の同乗(任意)で。

交通費は各自ご負担願います。

実技補講（日程、会場は決まり次第お知らせします。受講費は別途必要になります）

1月・・・労山関東ブロック協議会主催 雪崩講習

その他、遭対部主催ファーストエイド講習会、日本勤労者山岳連盟主催クライミング、沢登り講習会、関係団体主催読図、クライミング、沢登り講習会等任意参加も可能です。日程、場所は随時案内。

6. 受講費

- 初級 ・神奈川県労山加盟会員の方・・・45,000円
 ・それ以外の方・・・・・・・・・・60,000円
 中級 ・神奈川県労山加盟会員の方・・・40,000円
 ・それ以外の方・・・・・・・・・・55,000円

同級2年目以降の受講者は各5,000円引です。

一年間の受講費です。交通費、テン場代等施設使用料、食費、宿泊費、装備費、連絡通信費、振込手数料等は含みません。

7. 山岳保険

労山新特別基金加入の方は最低5口、できれば10口加入をお願いします。

労山以外の方は、実技前日までに捜索救助補償が必ず付いている山岳保険にご加入後保険会社名、内容をお知らせ下さい。

8. 申込〆切

2011年3月末までですが、定員に達し次第それ以前に締め切ることもあります。

若干名の募集

相模アルパインクラブファーストエイド講習会

相模アルパインクラブでは4月10日（日）に全国遭難対策部の藤升さんを講師に招いてのファーストエイド講習会を行うことになりました。相模アルパインクラブで昨年も行い、大変好評だったものです。

若干名の募集とはなりますが、他会の方にもご参加いただきたく、ここに予告案内させていただきます。

会場等はこれからの手配となり、時間や参加費も未定ですので正式には後日の案内となりますが、興味のある方は予定に入れておいてください。場所は相模大野駅そばの大野南公民館になる予定です。



田村@相模アルパインクラブ

第34回 2011丹沢クリーンハイク第3回実行委員会

日時 3月28日(月) 19時30分～21時

場所 かながわ県民サポートセンターミーティングルーム709

議題 チラシ作成準備、他など

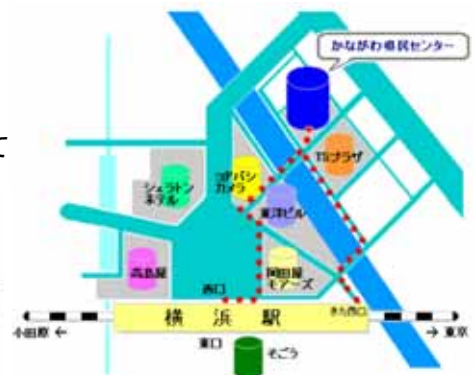
各会の自然保護委員の方、クリーンハイクに参加してみたい方の出席をお待ちします。

クリーンハイク実施日

5月29日 日曜日

水質調査 および 前夜祭

5月28日 土曜日



第29期(2011年度)神奈川県勤労者山岳連盟登山リーダー養成学校申込書

希望クラス(初級 ・ 中級)

氏名(フリガナ)	性別	生年月日(西暦で)	血液型
所属会(無所属の方はその旨ご記入下さい)		持病等	
現住所 〒	自宅Tel 自宅Fax		
携帯電話	Email(諸連絡用)		
緊急連絡先(ご家族TEL)			
勤務先名称	勤務先TEL		
基金口数(労山の方)または加入保険会社・補償内容・事故時連絡先(民間保険加入の方)			
無雪期一般ルート登山の経験(最近5年間程度の主なものを記入して下さい)			
積雪期一般ルート登山の経験(同上)			
無雪期バリエーション・クライミングの経験(同上)			
積雪期バリエーション・クライミングの経験(同上)			
沢登りの経験(同上)			
あなたがリーダー学校で学習したい内容			

申込先 神奈川県勤労者山岳連盟 教育部 後藤 宛 E-mail kamog-510@mbp.nifty.com

雪上訓練の報告

救助隊 海輪 利昭

開催月日 1月15-16日
 開催場所 土樽駅周辺
 訓練内容 雪質テスト、ビーコン、プローブでの捜索、支点構築、梱包法(シート、ストレッチャー)
 参加者 相模AC3名、川崎労山3名、AC横浜2名、川崎柴笛6名 合計14名

15日 天候は曇り時々晴れ。

雪質テスト、ビーコン、プローブでの捜索と支点構築、梱包法に班分けして訓練を開始しました。講師は私と熊谷副隊長雪質テストはショベルコンプレッションとハンドテストをおこない結果は、雪上から20cm下、更に20cm下と40cm下に弱層があり、Very EasyないしはEasyの状態です。急傾斜地やトラバースの行動では危険を伴う状態と判断しました。積雪は1.2mと少ないものでした。ビーコンでの捜索では30m四方の雪面をデブリ状態に踏み荒らし、1個ないし2個のビーコンを埋設して一人ひとりが捜索をおこないました。私は恥ずかしながらいまだにアナログ機種を使用しており捜索時間は3分30秒を要しましたが、デジタルの3本アンテナ機種では最短1分30秒程で埋設物が1個の場合は捜索を終了しています。全体でも5分以上を要した人はなく救助隊としてのレベルを保っていると思えました。

プローブでの捜索では積雪が少ないことから人の埋没ができず、斜面を利用して横穴を掘り、穴に入った人に対して上部からプローブでの感触を確認することにとどまりました。

支点構築ではスノーバーと土嚢袋を使用し設置しました。午前中の班では雪質の状態により荷重をかけると支点の破壊がありましたが、午後実施した班では荷重をかけても破壊されることなく気温の低下により雪質が変化していることが確認されました。

梱包法ではツエルトを使用したシート梱包とスケッドストレッチャーを使用した梱包法をおこなっています。

初日の訓練終了後に翌日の搬出訓練予定地であるタカマガキ山下部の下見に行きましたが、道路から1時間以上入って行っても3ピッチ以上の斜面がなく、訓練地として適さないことが確認され足拍子岳下部の斜面を使用することを確認して訓練を終了しました。

16日

15日夕方からの風雪が激しく、関越道も除雪車を先頭に一列で徐行状態の走行をしている状況。訓練開始へ向けて全員がハーネスを着装するまでの準備をしたのですが、駐車地(土樽駅前)からの脱出と関越道の通行止めが懸念され、訓練を中止して帰京することとしました。

参加された皆さん、ご苦労様でした。
 以上

丹沢でアイスクライミング

丹沢でも以前はよく凍ったものだが、最近は温暖化のお陰でなかなか登れるまでは結氷しない。

期待はせずに北面でアプローチが比較的良好な西丹沢の沖箱根沢を目論んでみた。

出合まではスリーシーズンの沢と何ら変わりなく、「こりゃあ普通の沢登りになるかな・・・」。出合から沢を覗き込むと「おー!!」。意外にも何とか登れそうなくらい結氷している。たしかに氷の下には水の流れが見えるくらい薄いのだが、スクリュウも決まり「来た甲斐があったねえ～」と、期待していなかっただけに満足。今年是他会でも裏丹沢の円山木沢などアイスが楽しめたようだ。

沖箱根沢記録 (遊行グレード: 2級)

2011年2月7日

沖箱根沢へは今回、マスキ嵐沢出合より大滝沢を遡りアプローチ。沖箱根沢出合奥に早速15m滝が見える。ここ数日冬型が緩み気温が上がったせいか氷結状態はやや甘かった。



流芯右側を登るが、パイル・クランポンともよく効いた。(級)

ブレイ点は落ち口上の1m岩にロングスリングを継ぎ足して回して取る。この滝は左岸の山腹を巻けるがやや悪い。

続いて5m滝。こちらも流芯右側の氷が厚くなっているルートをフリーで登れた。(級)

ブレイ点は右側の灌木で取れる。この滝も右角が

ら巻けそうだがやはり少し悪そうだ。

間髪入れず20m滝。斜度は寝ている。流芯右側をアイスクリュウ2本ランニングを取り登る。落ち口の結氷状態がほとんどベルグラ状で少し悪かった。(級)ピレイ点は左側の灌木で取る。

しばらくの間ナメが続き、標高750m辺りで垂直に近い20mナメ状滝が出現する。結氷状態はとて登れるものではなく、沢登り時期でも直登は厳しいであろう。20m手前、左岸側のサイコロ状岩尾根から登り、ザレ斜面を木頼りにトラバースして高巻く。少々悪かった。

標高785m二俣状を左に進めば3段(4段にも見える)ナメ滝。3m級で特に問題なし。

標高815m辺りで左岸側に土留(どどめ)柵あり。この辺りから流木群や崩壊した土留用のタンカンが混じる荒れたゴーロ帯となる。

標高895m二俣は今回短い左俣へ入る。脆い土・岩ルンゼを詰めると半分は崩壊した土留群が現



れ、慎重に越して、しばらくで明瞭な作業径路が続く箱根屋沢左岸尾根に飛び出る。

遡行者：後藤真一(山岳素行童人メーグリ家、秦野市遭対協救助隊)
安田麻衣(AC横浜)

2月 事務局長会議 議事録

2011年2月8日(火) 7:20開始

司会：池上事務局次長

出席者：小池(川崎労山)・渡辺(川崎HC)・砂原(柴笛)・丸尾(横浜HC)・中河原(藤沢)・蝦名(相模AC)・関(みずなら)・安野(雪童)・磯部(地平線)・栗田(やま++)・青柳(山ブキ)・尾形(メーグリ家)

理事等：蝦名(財政)・三上(機関誌)・池上(事務局次長)・西川(事務局部員/記録)

【 】県連からの連絡事項(連盟ニュース2月号参照)
臨時総会：代議員の出席を宜しくお願い致します。病氣・急用の時は代理の方が出席出来る様に手配をお願い致します。

理事宛の議案書がここに有りますが、近日中に渡せる理事が居ましたらお渡し願います。

議長団選出についてお願いします。

議長：藤沢、副議長：川崎HC

書記：横浜HC(2名)

資格審査委員：川崎労山・AC横浜

選挙管理委員：川崎柴笛・みずなら

理事選出についてお願いします。

<不足数2名> 川崎HC

<不足数1名> AC横浜、藤沢山の会、みずなら、緑星、さがみ山友会、カモの会、雪童山の会、山ブキの会、山の会おた!

【2】各会からの報告(怪我・トラブル等報告)

<やま++>栗田 彰です。16名です。ヒヤリハットが1件有りました。恥ずかしいんですが私です。「事故」は、何でも無い所で起きると言う事が判り

ました。場所は物見峠(丹沢)の下り坂で、3~4m滑落しました。時間をロスしていたので、多少焦っていたのだと思います。砂地の上に枯れ葉が落ちた所で、足の方から仰向けに落ちたので、ザックがブレーキ役をしてくれたと思います。石に滑ってとか、木に滑ったと言う記憶は有りませんので、道の端を踏みはずして落ちたのではと考えています。角度は25度以上有ったと思います。足だけでは登れない斜面でした。滑った所が岩や石ころの多い所だったら、止まらないでもっと落ちているのではと思います。別に気を抜いた訳では有りませんが、ビックリしました。事故と言うのはこうして起きると言う事を実感しました。人とすれ違った訳でもなく、何故谷側を歩いたのか自分でも判りません。焦っていたのかも知れません。涸沢川から西尾根を登ったんですが、大山三峯の北側直下に出る道で、標高差500m弱でしたが、一般道に出るまで3時間かかりました。雪はまだ模様に残っていて、かなりの傾斜面でしたので、軽アイゼンをつけて登りましたら、非常に登りやすかったですご紹介します。

* 私(蝦名氏)も昔、静岡の山伏(やんぶし)に行った時、八紘嶺(はっこうれい)の下りで6本歯の軽アイゼンをつけて下山しましたが、凄く快適でした。

<藤沢>中河原昭夫です。98名です。事故が2件有りました。1/22沼津アルプス縦走中の事故。13:00頃、大平山で昼食後10分程下った多比口峠の手前で左足が滑り、外側に捻り歩行が困難になった。場所は乾燥した砂地の様な所だったが特に急ではなかった。55歳の女性。シップ・テーピング等で手当し、靴の上から三角巾で足首固定をして歩行をしたが痛みが激しく、背負い搬送となった。搬送者がストックを使う。途中でロープ、シュリング、カラビナ、

シートを使用して背負子を作る。男性2人で交代してバス停まで搬送した。通常40分で下山出来るところを1時間30分かかった。当日19時にX線で調べたところ捻挫と診断された。最低3日間の安静の指示を受ける。本人の反省としては、大平山まで急登・岩が有り緊張したが昼食後は気が弛み、楽しくおしゃべりをしながら緊張が欠けていた。また前夜の寝不足(仕事)からの疲労、ストックを持参しなかった。まだ現在も痛みが有るとの事です。

二つ目は、男性64歳。1/15 丹沢 鐘ヶ岳北尾根から大山への地図読み山行。出発前 別府の湯の入口タイルの階段につまずき、階段のかどに膝を強打。痛みは有ったが大した事はないと思い、その後夕方まで9時間行動し、車で自宅に帰る。一週間後痛みと腫れが取れず受診して骨折と診断された。

<山ブキ> 青柳百合子です。7名です。昨年怪我をした人が元気を取り戻す為に、弘法山で新年のミーティングをやりました。まだ肩が痛いそうで肩と足のりハビリをやっていて、山に戻りたいと言っていました。みんなが集まる機会が少なく、個人会員の事も話す事が出来てよかったです。

<地平線> 磯部津輝子です。7名(女4男3)です。会員で山スキーをずっとやってくれた人が亡くなって、追悼山行を4月に戸隠でやる予定でいます。今度の連休(2/11~13)でハケ岳 赤岳に行く予定が有りますが情報が有れば教えて下さい。

<川崎柴笛> 砂原浩二です。37名です。連盟ニュースに載せる報告が遅れてしまい、山行報告を載せる事が出来ず、申し訳ありませんでした。

<川崎労山> 小池秀子です。43名です。事故、ヒヤリハットは有りません。

<相模AC> 蝦名政次です。32名です。事故、ヒヤリハットは有りません。

<メグリ家> 尾形忠です。8名です。事故、ヒヤリハットは有りません。

<横浜HC> 丸尾真知子です。54名です。ヒヤリハットが有りました。草津スキー場で、会員を追い越して前に出ようとしたが、追い越せずにつづかってしまい2人とも転倒。怪我にはなりません。平成22年度から、全員が1年に1回はリーダーをやる方針になり1年が経ちましたが、上手くいきましたので来年度もやることになりました。今年も景信山で餅つき山行をやりました。雪が全く有りません

でしたが、風が大変冷たく感じました。

<みずなら> 関 徹男です。40名です。2/6 塔ノ岳に行った帰路で、事故者に遭遇しました。3:45頃 堀山の家から30m上(29)で、60代の男性で2人パーティーの1人。2人パーティー以外に7人の登山者が居た。バランスを崩して転んだ時に、ザックが木に引っ掛かり、ザック毎振られて頭をケガして近辺に血が流れていた。頭は三角巾で止血して、レスキューシートで保温していた。事故者の意識はしっかりしていたが、頭を切っているので、この場所から動かせないという判断でした。警察には連絡済みで救助隊を待っている状態でした。堀山の家は閉まっていた誰も居ないとのこと。何かやる事がないか聞いてみたが、保温しておけば大丈夫との事で下山した。大倉に18時に到着しましたが、救助隊には会いませんでした。暗くなり気温が下がってきたので、待っていた人が気になりました。レスキューの携行品の重要性和、山は早い時間に出発して余裕がないといけないという事を学びました。

1月末に大手町で人が倒れていました。私自身4年連続で救急法をやって居るんですが、現場に行くと恐くて全く手が出ませんね。なかなか難しいですね。

<川崎HC> 渡辺のり子です。100名です。事故、ヒヤリハットは有りません。1/23 新年会49名参加、1/30 新春ハイキング50名(含会員外7名)が参加して、新しい年をスタートしました。

<童山の会> 安野智子です。19名です。事故、ヒヤリハットは有りません。

【3】その他

<会計担当> 蝦名さんから

県連の会計は1/31で決算です。連盟費納入状況は100%全部納めて戴いています。この後会計監査を受け、常任理事会で承認された会計報告及び予算案を総会当日に配布します。

<自然保護担当> 磯部さんから

丹沢クリーンハイク第2回実行委員会は2月21日に、かながわ県民サポートセンターで行います。

第1回実行委員会には、川崎HC・柴笛・AC横浜・横浜HC・こぶし・藤沢・相模AC・みずなら・雪童・地平線の会の10の会が出席してくれました。今年は雨天決行で考えています。

特集 いま、なぜ個人会員制なのか？ 6

登山時報3月号に掲載されている、個人会員制についての神奈川県連盟内のいくつかの意見です。登山時報を購読している連盟員は少数ですので連盟ニュースに載せる事にしました。尚、愛知県勤労者山岳連盟理事長の洞井孝雄氏の一文は読むに値すると考えます（登山時報1月号）。

編集室

個人会員制についての私見

神奈川県勤労者山岳連盟理事長 後藤真一

神奈川県でも様々な賛否両論絶えず、県としての総論といつてもまずまとめきれない。

注視しなくてはいけないこととして、個人や会のメリットにとどまらず、個人や会や山岳組織も全部含めて今後の登山界というグローバルな視点に立って考えてもらうことが重要であると考えている。登山を含むすべての山岳団体、そして登山を行う人々が10年後、20年後どうなるべきか、そこまで視野に入れて考えていかないと、この論議はまとめきれないと思う。その推進役になるのが会も含めた山岳組織団体であると考える。決して、登山ほか各団体がそれぞれの組織存命を第一義の目的にしては適わないであろう。

未組織登山者、力のない山岳会や

組織、そして未来の山屋さんの新しいコミュニティなどを考慮し、技術・知識、山岳文化の継承、新たな研究、登山に影響を与える社会との関わりなどをベクトルのマイルストーンとして捉え、その具現化策のひとつとして個人会員制があると思う。個人的には個人会員制もありだと考えている。

しかしその玄関口になるのは、神奈川県各会の声にも出ているが、拡充させた教育の機会にすることが理想である。例えば神奈川県連でも例年実施しているリーダー養成学校も然りだし、これから全国で行おうとしている学習ネット、各地方連盟やアロクで行う講習を格段に充実させ、そこを潜った人を対象にすれば

よいと思う。そのためには「教育のスタンダード化」「登山インスタクター制度の確立」などが必要になってくるだろう。

昨今、登山を含め他山岳団体の担い手も高齢化し、各会においても高齢化、停滞化しているところが多いと聞く。10年後、20年後、今まで私たちに登山という素晴らしい文化を伝えてくれた山岳組織はどうなるのであろう？と不安感は拭えない。

我々がいうところの未組織登山者の多くと話をするにつけ、彼らの視点に立つと山岳会に入るメリット、必要性は希薄に感じる。mixi、ツイッター、Facebookなど

ホームページとは別次元のツールが当たり前前の情報源となり、そこから生まれる山岳会とは別の新しいコミュニティが登山の玄関口になりつつある。

しかしそこではリスクの高い登山というスポーツのマナー、セオリー、知識、技術の伝承はできない。机上の知識には長けてはいるが、経験は累積されない。それを行えるのが私たちのような山岳組織ではないだろうか。そのような観点に立った将来の登山コミュニティを支援する個人会員制度であるならば私たちの存在意義、社会的意義を大いに発揮できるものと考えられる。

所属会からの意見抜粋

神奈川県連

■A会

①反対。いろいろ背景、理由などあるが簡単にまとめると次のようになる。
・技術の継承は山岳会で行うべきことであり、そのためには山岳会の活動を活発化させることが本筋であること。
・登山の普及は個人会員制度ではなく、

県連の行うリーダー養成学校などの活動で十分なこと。

山岳会での活動は会員同士のコミュニケーションが重要であり、そこにベースをおく活動と個人の山岳活動を同じ器に盛ることはできないこと（たとえば、個人会員からの救助要請にどれだけ我々が応えることができるだろうか）。

先日、話を聞いた限りでは、登山として会員の減少およびそれに伴う活動

特集 いま、なぜ個人会員制なのか？ 6

資金の枯渇を心配して個人会員制度を導入しようとしているように感じた。これは組織の維持を最優先課題と考えており問題意識が本末転倒だと思つた。私個人としては違和感を覚える。手続的にも数年後は地方で個人会員制度を維持することになっていくが、個人会員の潜在的需要が大きい神奈川県では実質的に無理だろう。この辺りは全国連盟の対応を無責任に感じる。

② 現実に会の高輪化が進み、会員が減少している会の立場から考えても、もっと迫りやり方があるような気がする。例えば、県連主催のガイドツアーを行う！エルプレス（アウトドア専門店）などで行つていそうな、屋久島や富士登山などを企画し、若者を呼ぶ。そこでもっとちゃんと山を学びたい人には県連の行うリーダー養成学校を勧めるとか。リーダー養成学校では山岳会に所属している方も大勢いるので、そこから山岳会に入りやすいかも。または、大学や高校の山岳会とのパイプを作り、彼らとのコミュニケーションの場を年一で作るとか（県連主催のクワイミングコンペとかありましたよね？そうだったもの）。

③ メリットとしては収入面が増えることが予想される。デメリットとしては、個人が制度に加入した後の発展が見込めるか？という点。

既存の山岳会等の組織でカバーするには、もう少し補強が必要と思う（そこは地方で考えるということなのかもしませんが）。その発展が個人がならんかのコミュニケーションに属することで行われるのであれば、むしろ県連で行うリーダー養成学校のような知識、技術習得の場から発展していくのが自然かと思つている。ちよつと本題から外れてしまうかもしれないが、全国連盟からこの流れを作るのであれば、知識・技術の標準化の流れとセットで進めるのが理想かと思つている。具体的には指導員制度や資格制度と一緒に導入するという。過去の議事録にもあるとおり登山にはこのような制度がない。知識・技術の底上げを行わないまま数だけ増やすことが果たして今の時代における発展につながるのか。このあたりを考えている。

■B会

① 個人会員と既存の会に所属している者に差を付けるのは良くない。

② 個人の技量も分らないのに全国登山として計画書を受諾しても良いのか否か。

③ 個人会員を増やすのではなく、既存会の会員数を増やしたり、新規の会の設立に力を注いだらどうか。

④ 将来的に地方の会が負担を負うようになるのではないかと。

⑤ 個人会員が事故を起こした場合の対応は？また個人会員に対しては救助の義務がないとしてあつても、世間からみれば個人会員も登山の一員であるので救助に向かわなければ非難されることが予想される。

■C会

・賛成意見要約

① 現状のままでは衰退の道をたどることになるだろう。いろいろ疑問点があるが新しい試みは必要だ。やってみなければわからない。うまくいかなかったら考え直せばよい。

② 「教育する」、「管理する」という従来の考えを捨て、個人会員には教育や訓練の場を提供する（強制はしない）。そのかわり山行計画はあくまでも自己責任（山行管理はしない）とする。

③ いつまでも個人会員のままというのは好ましくないので、できるだけ、近くの山の会に入会してもらうように働きかける。

・反対意見要約

① 現時点では議論が尽くされていないので反対。納得できる体制が示されれば賛成したい。

② 登山に魅力がないから衰退しているのではないかと。もつと魅力を感じさせる方策を打ち出すことが必要。個人会

員制という前に個人登山者がどんな考えを持っているかを分析することが先だ。

③ 個人会員が登山のお客様になってしまふのではないかと危惧する。年間一回以上、登山主催の机上講習と教育山行に参加し登山という組織に賛同した方々を個人会員に迎えるのはどうか。

④ 個人会員には登山の趣意をよく理解してもらい、一定程度の意欲と技量を確認、認定する仕組みが必要で、そういった議論が尽くされるまでは、制度を導入するべきではない。

⑤ 単独行は危険である。それを助長するような制度は導入するべきではない。

⑥ 登山の会員維持のため誰でもいいから募集するという考え方はおかしい。会員が減っても登山はクラブ加盟とすべき。

⑦ 最近若者の登山が増えているが、組織に入って制約を受けることを嫌う傾向があるように感じる。個人会員制を作っても入ってくるとは思えない。

⑧ 当初は全国連盟が面倒みるのが、ゆくゆくは地方連盟に移管すると言う方が地方にはそんな余裕はない。

⑨ 一般登山者に対する登山のPRが足りないのではないかと。

.....

第2回クリーンハイク実行委員会 議事録

日時：2011年2月21日 19時30分開始

場所：県民サポートセンター

出席者：大用(川崎HC)、渡辺(相模AC)、磯部(地平線の会)、高橋・萩原(藤沢山の会)、関根(みずなら)、伊藤(横浜HC)、三上・高橋(こぶしの会)、柴田(やま++)、森谷(ナーゲル)、永井(カモの会)、吉崎(柴笛)

実行委員長、副委員長、選出

実行委員長：渡辺三男(相模アルパインクラブ)

副委員長：永井慈子(カモの会)

清掃コース決定 下段一覧参照

清掃コースについての討議内容

- ・大山にゴミが多いのでコースを増やす。蓑毛 - 裏参道 - 大山。蓑毛に受付員配置。
- ・昨秋クリーンハイクを行った不動尻コースを、継続して行う。
- ・戸沢林道、西山林道コースは、雨天時のみ対象とする。
- ・雨天時の登山道コースは、大倉尾根とする。
- ・二ノ塔コースは、三ノ塔コースと重なる部分が

多い為、廃止する。

・日向薬師コースは長く厳しい為、下社 - 見晴台コースへ変更。

・同一コースに、複数会の担当希望がある場合、他のコースに割り振る。

・林道の崖下を清掃対象とする提案もあったが、危険や責任が伴う為、今回は見送る。

水質調査担当会

勸七沢 - 雪童山の会

源次郎沢 - みずなら山の会

一ノ沢 - 地平線の会

水場 - 横浜ハイキングクラブ

名水 - 藤沢山の会

水無本谷沢 - 未定

その他

・ポスター制作は、三上さんをお願いする。

・秦野市公園緑地課訪問は、実行委員長と高橋(勇)さんとで日時を決め、同行者を募る。

・不動尻のゴミ回収について、伊勢原市へ連絡必要。

次回

3月28日(月)19時30分 県民サポートセンター ミーティングルーム709

集合場所・時間		コース名	清掃場所	ゴミ集積場所	歩行時間 目安	体力
	A	大倉高原	大倉 - 大倉高原 - 堀山の家	大倉	約4時間	一般向け
	B	大倉尾根(花立)	堀山の家 - 花立山荘	大倉	約5時間	一般向け
大倉 8時30分	C	大倉尾根(塔ノ岳)	花立山荘 - 塔ノ岳	大倉	約6時間	健脚向け
	D	丹沢山	塔ノ岳 - 丹沢山	大倉	約8時間	前夜戸沢泊発
	E	鍋割山	二俣 - 後沢乗越 - 鍋割山	大倉	約6時間	健脚向け
	F	新大日	戸沢出合い - 新大日	戸沢出合い	約5時間	健脚向け
	G	表尾根三ノ塔	二ノ塔 - 三ノ塔 - 大倉	大倉	約4時間	一般向け
ヤビツ峠 9時	H	岳ノ台	ヤビツ峠 - 岳ノ台	ヤビツ峠	約3時間	一般向け
	I	イタツ尾根	ヤビツ峠 - 大山	ヤビツ峠	約3時間	一般向け
	J	不動尻	大山 - 不動尻 - 広沢寺温泉	不動尻	約4時間	一般向け
蓑毛 8時30分	K	大山裏参道	蓑毛 - 裏参道 - 大山	ヤビツ峠	約4時間	一般向け
伊勢原駅北口 8時30分	L	大山下社	下社 - 大山	ヤビツ峠	約3時間	一般向け
	M	大山見晴台	下社 - 見晴台 - 大山	ヤビツ峠	約3時間	一般向け

3月度常任理事会報告 2月28日(月)

出席者：後藤理事長、田村副理事長、増田さん、海輪さん、蝦名さん、大用さん、池上さん、西川さん、三上
 欠席者：中山会長（連絡あり）

議事

1/16湯河原梅林公園環境保全活動の報告(後藤理事長)

広沢寺の岩場清掃集会2011(第12回)3/6の呼び掛け(後藤理事長)

教育部

教え方の統一と呼び名の統一を、各学校で出来ないか。ほか。

事務局部会

臨時総会への準備

会計

蝦名さんの代わりの会計担当をする人選について。当面、遭難対部長の任を解き、田村副理事長がこれにあたる。事務局部会は補佐する。

救助隊

低体温症の実験の報告。

水質検査山行には救助隊は対応していないので各担当会に連絡する。

自然保護委員会

クリーンハイクの進捗状況の報告。

連盟ニュース

1/16湯河原梅林公園環境保全活動の報告文を要請する。

登山時報3月号掲載の個人会員制についての意見を連盟ニュースに載せる。

評議会報告

関東ブロック女性委員会について

磯部理事の担当で準備を進める。

文責：三上

後藤理事長より

今月より常任理事の担当に一部異動がありますのでお知らせいたします。

副理事長 田村和寿

担当 遭対部部長

事務局財政(現、蝦名財政担当退任のため)

理事長 後藤真一

担当 教育部部長 兼 事務局組織

教育部部長 兼 事務局組織 兼 遭対部部長

財政担当変更により、各会への請求書発行等会計業務が少々遅れますことご了承ください。

また皆様に重ねてお願いがございませう。

上記2名は県連業務はもとより、全国連盟理事(神奈川からは2名)も兼任しておりまさに兼任の嵐のため、なかなかひとつの担当に集中できない状況です。

そこで、各会の皆様には是非とも県連理事(もちろん全国理事も)の一翼を担っていただける方を広く募集します。

担当はさまざまあります。

ご自身ならびに皆様の会員で適任者がいらっしゃれば立候補、推薦をご連絡ください。

例)

・事務局および事務局長

月1、2回(事務局長会議含む)の案内と参加
 半期ごとの県連会議の事務業務 など

・機関紙担当(県連ニュース)

月一度の県連ニュース編集、印刷

・財政担当補助

各会からの連盟費徴収

全国連盟および新スポーツ連盟への連盟費支払
 県連専門部会への補助費支払い

半期ごとの収支報告作成

・救助隊員および救助隊事務局

月1回の救助隊ミーティングの参加

年2回の県連救助隊訓練の企画、実施

関東他都県合同訓練の参加

・遭対部

年数回の遭対部主催講習会の企画、案内、当日の運営

* 遭難事故(全国連盟ベース)の紹介と各会へ情報共有化

* 全国連盟遭対部との情報共有と安全技術の紹介

・教育部講師および委員

クライミング、読図、沢登り、雪山、気象等得意分野実技における指導

講師間における指導技術の標準化

教育部会計担当、受講者出欠管理、受講者習熟度管理

・ハイキング委員会

教育部と指導内容を一にしたハイキング受講者に対する指導

ハイキング委員会会計担当、受講者出欠管理等

・自然保護委員会

丹沢クリーンハイク実行委員会の運営

丹沢大山再生委員会、クリンピア21、丹沢ボラネット等関係自然保護団体との連携、会議体参加 等

・全国連盟理事

毎月第3火曜日夜、全国理事会への出席

各専門部会(メディア局、遭体部、組織部、女性委員会、学生委員会、遭対基金委員会、ハイキング委員会等)への参画

以上広く会員へ周知していただきますようお願い申し上げます。

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

川崎勤労者山岳会

報告：小池 秀子 計43名(男27 女16) 平均 歳

2/6 湯河原・幕岩(4+1)	2/11-13 後立山・五竜岳(2)	2/19-20 北八ツ岳・硫黄岳(8)
2/6 湯河原・幕山(4)	2/13 湯河原・幕岩(2+4)	
2/6 丹沢・大山川沢(3)	2/16 湯河原・幕岩(3)	
2/11-12 大菩薩峠(2+1)	2/18-20 乗鞍岳(山スキー)(2)	

川崎ハイキングクラブ

報告：川上勝夫 計100名(男50 女50) 平均62歳

1/19 北高尾稜/高尾(7)	2/11 南房総鋸山/房総半島(3)	ルスシュウ)	4/20 笹の岩山
1/22 沼津アルプス/沼津(7)	2/12-13 石楠花平、蓼ノ湖/日光(11)	3/18 明神岳	4/23 府中散策(ウオーキング)
1/30 曽我丘陵/松田(52)	3/6 日ノ出山(例会山行)	3/19-21 甲武信ヶ岳(テント山行)	4/23 鷹取山(岩トレとロープワーク)
2/1-3 上高地/北アルプス(1)	3/12 扇山	3/26 三浦半島猿島(春の花見)	4/24 鹿倉山
2/5-6 天狗岳/ハヶ岳(7)	3/12 入笠山(冬山入門)	3/27 金時山	4/24 外秩父七峰縦走
2/6 桜山~白山/丹沢(22)	3/12 東高根森林公園(ル)	4/3 影信山(例会山行)	
2/11 多摩区30Kmウォーク/多摩区(25)		4/8-10 谷川岳(雪トレ)	

川崎柴笛クラブ

報告：砂原浩二 計37名(男22 女15) 平均48歳

2/7 仏果山(1)	2/11-13 甲斐駒ヶ岳・黒戸尾根(5)	2/19-20 八ヶ岳・阿弥陀岳南陵・北陵(3)	2/26-27 谷川岳・西黒尾根(2+3)
2/4 湯河原幕岩(1+1)	2/13 高畑山(1)	2/20 足尾溪谷松木沢アイス(4)	2/26-27 上信越菅平・根子岳(1+1)
2/5-6 谷川岳・西黒尾根(10)	2/13 鶴ヶ島屋山(8)	2/20 三つ峠アイス(2+1)	2/27 丹沢・表尾根(1)
2/11 三浦富士(1)	2/19 丹沢・広沢寺(1)	2/26-27 西吾妻山(5)	2/27 権現山~扇山(1)
2/11-13 飯綱高原(1+1)	2/19 丹沢・表尾根(1)		

アルパインクラブ横浜

報告=岸 直哉 計38名(男23:女15) 平均 歳

2/3 湯河原幕岩(2)	2/8 越沢バットレス(2)	(2)	ラン大会(5)
2/4 裏妙義・裏谷急沢(1+3)	2/11 屋久島(1+1)	2/12 塔ノ岳(1)	2/19-20 タカマタギ(1+6)
2/5 入笠山(1+1)	2/11 湯ノ丸山(2)	2/13 湯河原幕岩(1+2)	2/20-21 八ヶ岳・ジョーゴ沢(1+2)
2/6 城ヶ崎海岸あかねの浜(1+2)	2/12 志賀高原笠ヶ岳越エタコチコース(2)	2/15-16 白毛門(3)	2/22 霧積(1+1)
2/7 丹沢・沖箱根沢(1+1)	2/12 塔ノ岳(2)	2/19 笛吹川東沢・乙女ノ沢(1+2)	2/26-27 八海山(深雪訓練)(10)
	2/12 平湯温泉・四ツ岳	2/19 三浦半島(縦走トレ)	

横浜ハイキングクラブ

報告=丸尾真知子 計54名(男22:女32) 平均62歳

2/10 例会(40)	高原スキー(8)	2/16-17 雁ガ原摺山(3)	3/6 長瀬アルプス
2/6 高川山(17)	2/19-20 上越/タカマタギ(県・1)	2/22 明神ヶ岳~明星ヶ岳(1)	3/13 名倉金剛山
2/12 鍋割山(6)	2/3-4 蔵王スキー(7)	2/27 鍋割山(1)	3/20 茅ヶ崎海岸ハイキング
2/27 新治市民の森・バラストレーニング(25)	2/6 長瀬アルプス(2)	3/10 例会	3/27 丹沢・塔ノ岳トレーニング
2/14-16 越後湯沢・岩原	2/16 幕山~南郷山(1)	3/5 貫が岳	
他会に通知したい事項	23年度本部役員選挙が終わりました。部員(一部)は次回例会で決定予定。		

横浜こぶしの会

報告=南雲哲男 計25名(男18人 女7人) 平均55歳

1/29 三浦アルプス(9)	2/13 愛鷹山(6)	3/10 室内例会
2/6 早戸大滝(2)	2/18-21 八甲田山スキー(1+17)	3/19 シダゴ山
2/9 室内例会(7)	2/22 運営会(3)	3/26 総会
2/13 丹沢・塔ノ岳(1)	2/27 三浦シーサイド	4/2 大楠山

藤沢山の会

報告=中河原昭夫 計98名(男48:女51) 平均64歳

2/2 運営委員会	2/19 丹沢・辺室山、三峰山(4)	3/5 奥多摩・川苔山
2/5 箱根伊豆・玄岳(会々々 21)	2/19 南関東・蘇我丘陵、不動山(9)	3/6 丹沢・書策新道、源次郎尾根
2/6 奥武蔵・棒ノ嶺(4)	2/23 室内例会(36)	3/8 機関誌印刷・発行
2/6 南関東・花嫁街道(5)	2/26 南関東・二子山、田浦梅林(17)	3/9 室内例会
2/8 機関誌印刷・発行	2/26-27 丹沢・蛭ヶ岳(雪山の集い 7)	3/10 丹沢・大山北尾根
2/9 室内例会(41)	2/27 富士周辺・双子山(教育部・雪山実践)(7)	3/12 箱根伊豆・幕山(新人歓迎山行)
2/11-13 北関東・武尊山(教育部・雪山実践)(7)	2/28 30周年記念誌製本(16)	3/19 南関東・房総、高岩山
2/12 大菩薩・源次郎岳(会々々 7)	3/2 運営委員会	3/20 道志・峰山
2/19-20 上信越・黒斑山	3/5 丹沢・白山、高松山(会々々 8)	3/23 室内例会
2/19 丹沢・黍殻山、袖平山(3)		3/26 富士周辺・鶴ヶ島屋山(会々々)

相模アルパインクラブ

報告:水村和也

計32名(男24:女8)平均 歳

1/21-24 由布岳・九重山(阿蘇山)(1)	2/2 城ヶ崎(1)	2/13 湖西連峰 多米峠~二川・東山(1)	2/19-20 城ヶ崎(1)
1/26 城ヶ崎(1)	2/5 幕岩(1)	2/12-13 広河原沢右俣(2)	2/20 城山(2)
1/29 主稜(1)	2/5 湖西比良 武奈ヶ岳(1)	2/13 広沢寺(1)	2/22 大山(1)
1/29 西丹沢・畦が丸(1)	2/6 幕岩(1)	2/16 幕岩(5)	2/22-23 城ヶ崎(1)
1/29 幕岩(2)	2/5-6 伊豆・城山 天城山(12)	2/16 幕岩(5)	2/23 幕岩(4)
1/30 四十八滝(アイス)(2)	2/6 小櫃川水系/キンダン川(1)	2/16 大山三峰(1)	2/26 幕岩(2)
1/30 葉山・森戸川源流 遊行/中尾根下降(1)	2/6 六甲山紅葉谷 七曲滝(1)	2/18-19 大山・別山尾根・中央稜(1)	2/25-26 伊吹山(1)
2/1 大山南稜(1)		2/19 塔ヶ岳(1)	2/25-27 タカマタギ(ラッセルトレ、雪洞)(7)
		2/19-20 タカマタギ(リダー学校)(2)	

カモの会

報告:森谷準一

計65名(男47:女18)

平均35.5歳

2/5 湯河原幕岩(5)	2/11 赤岳主稜(1+1)	2/24 畦ヶ丸(1+1)
2/5 八ヶ岳 天狗尾根(1+4)	2/11 鳳凰三山(4)	2/26 沼津アルプス(2)
2/5 日光/雲流溪谷(4)	2/13 霧訪山(2)	2/26 伊豆/城山(2)
2/5 ニューゼaland ケブラートラック(1+1)	2/19 東麓ノ塔山・黒斑山(1+4)	2/27 芦安コリトルネ(2)
	2/19 西上州/神津牧場(4)	2/27 広沢寺(2)

やま++

報告:栗田 彰

計16名(男11:女5)平均49.6歳

2/5-6 雪崩実技講習・蓼科山7合目(5)	2/26 乗鞍スキー(3)	3/9 例会	3/26-27 角田山他
2/9 例会(9)	2/27 雪崩実技講習・蓼科山7合目(6)	3/12 鍋割山	
2/23 例会(10+1)	3/5-6 鍋倉山BC	3/20 ミツバ岳	
		3/23 例会	

山ブキの会

報告:青柳百合子

計7名(男:女7)

平均65歳

1/3 景信山...新年山行	1/23 高尾山	2/20 塔の岳	3/20 秩父 セツブン草、福寿草観察
1/4 韓国 北漢山	1/23 塔の岳	2/21 松田山	3/21 景信山餅搗き...ら
1/10 新年会(弘法の湯)	2/4 弘法山	2/26 大山	くらくハイク(新婦人)
1/18 大倉尾根(堀山の家)	2/6 鍋割山	3/6 幕山	
	2/11 景信山	3/7 例会(机上)	



登山時報 3月号 目次
 スペイン巡礼の道 670km 大森康宏 03
 76歳で果たした高峰登頂の夢！
 ネパール・ヒマラヤ チュルー 澤田善太郎 06
 山のスケッチ 東三河山ぽ会 08
 連載 クイズ地図読み迷人 村越真 宮内佐季子 09
 野鳥との出会い ミヤマホオジロ 福井壽彦 小枝琢三 10
 シグナル わたしと山にかかわる日常あれこれ 齊藤善孝 12
 特集 いま、なぜ個人会員制なのか？(6) 代表者会議を終えて 門脇道成
 積極的に通常会員への転化を 栄重光
 県連討論集会を開催 津守良二
 個人会員制についての私見 後藤真一 13
 会員が増えた 会の活性化に向けた取り組み 菅和彦 20

房総の豊かな自然にふれる 郡界尾根2泊3日の縦走 広木国昭 22
 新連載 山のファーストエイド vol.1 恵秀彦 24
 新規加盟団体の紹介 無双・転生 26
 連載 碧い南の島だより 雨宮節 26
 山で気になるカンキョーの話 菊池敏之 27
 JWAFクリック 28 / 全国連盟の活動 31
 専門委員会活動報告32 / 編集後記 34
 インタビュー ひと 草野正昭さん 鈴木澄雄 35
 地元会員特選ミニガイド
 福井・青葉山/北澤和彦
 北海道・黒松内岳/今野平支郎 36
 ブックエンド 『日本の山の34年』他 浦添嘉徳 他 38
 会報えつらん室 塩田善次郎 40
 オススメ山道具 フラッターブル・ウェア 笹原芳樹 42

ナマステメールニュース Vol.28 2011/02/28

本メールはナマステ(こんにちは)メールニュースに、登山特別実証区(神奈川・東京・埼玉・千葉・石川)参加の各地方連盟が、登山全国連盟メディア局にメール配信登録をした方を対象にお送りしています。

ナマステメール・モバイル Vol.26 <http://www.rousan.jp/namaste/26.php>

携帯専用の為、PCの方はQRコードを読み取ってアクセスして下さい。QRコード <http://rousan.jp/namasteqr.php>

- | | | |
|--|---|---|
| 1: ナマステメールニュースモバイル版にIndexを新設 | か)(3) | 岳科学総合研究所 |
| 2: 2011日本冒険フォーラム(植村直己顕彰事業) | 5: 山の高度別の気温などの気象予測値情報(7)日本気象協会 | 9: 冬季・山岳ライブ映像等最新情報(4)(画像・動画) |
| 3: 雪・リアルタイム防災情報(4) 気象庁(全国290ヶ所の積雪アメダス) | 6: 2011年度ハイキングリーダー学校 入校案内 神奈川県連盟News2月号 | 10: トピックス 今世紀末には台風の強さは7%増強 IPCC5次報告予測研究 |
| 4: 冬季閉鎖道路情報(主要林道路ほ | 7: 地方・山系リアルタイム雨量情報(No.11) | |
| | 8: 第13回上高地懇談会 信州大学山 | |

県連のスケジュール

3月		4月		5月	
1	火	1	金	1	日
2	水	2	土	2	月
3	木	3	日	3	火
4	金	4	月	4	水
5	土	5	火	5	木
6	日	6	水	6	金
7	月	7	木	7	土
8	火	8	金	8	日
9	水	9	土	9	月
10	木	10	日	10	火
11	金	11	月	11	水
12	土	12	火	12	木
13	日	13	水	13	金
14	月	14	木	14	土
15	火	15	金	15	日
16	水	16	土	16	月
17	木	17	日	17	火
18	金	18	月	18	水
19	土	19	火	19	木
20	日	20	水	20	金
21	月	21	木	21	土
22	火	22	金	22	日
23	水	23	土	23	月
24	木	24	日	24	火
25	金	25	月	25	水
26	土	26	火	26	木
27	日	27	水	27	金
28	月	28	木	28	土
29	火	29	金	29	日
30	水	30	土	30	月
31	木			31	火

2011年度の全国的な規模の集会・会議予定

青年学生クライミング教室PART
 全国基金担当者会議
 青年学生沢登り教室PART
 労山創立50周年記念

全国山岳遭難対策協議会
 全国ハイキング交流集会

5月 8日 (広沢寺または湯河原)

6月18日～19日 (神奈川・三浦)

6月12日 (西丹沢マスキ嵐沢)

6月20日～7月4日 (予定)

ブータントレッキング(ブータン チョモラリ・リンシ)

7月 (東京・)

9月17～1日 (静岡・伊豆長岡の予定)